

PALLALINK
REFLECTIONS2
2008.01.22 - 02.03

「奈良」

響きあう森

フォトアートの作品展
奈良県立図書情報館
メインエントランスホール(2F)

音と映像のライブ・イベント
2008.01.26(Sat) 17:00-19:00
メインエントランスホール(2F)

PALLALINK REFLECTIONS2 「奈良」／響きあう森

東陰地正喜
西川文章
palla／河原和彦

「PALLALINK」は美術家palla／河原和彦(フォトアート)、西川文章(音楽・音響)、東陰地正喜(映像作品)を中心としたアーティストユニットです。

palla／河原和彦はこれまで主に大阪の都市風景を素材に作品を制作してきましたが、今回は「奈良」を素材に選びました。本展で展示される作品は、春日山原始林で撮影された1枚の写真をもとに作られたフォトアートです。

千年以上にもわたって太古の姿をそのままに留めた「奈良」の森には荒々しくも畏怖すべき美しさがあります。それは古都の風情の下に潜む、「奈良」のもうひとつの姿です。

フォトアートは1枚の写真を折り返し、重ね合わせるプロセスのなかから生み出されています。複雑に絡み合う木々は、このプロセスのなかで、その神秘的な美しさをいっそう際立たせていきます。巨大なフォトアートと音楽と映像とが重なり合う空間に身をおく者は、長い歴史のなかで人と自然が融合し独自の文化を育んできた「奈良」の奥深さを体験し、再認識することでしょう。

タイトル「REFLECTIONS」には、アートを構成する様々な要素が響きあうことにより、さまざまな予感に満ちた空間を提示しようとする美術家の意図がこめられています。今回はその第2回目となります。「奈良」が美術家の手によって新たに解釈されるとき、わたしたちもまた、まだ見ぬ「奈良」との出会いを予感することができるのです。

東陰地 正喜(ひがしおんじ まさき)
1969年生まれ。
京都大学文学部哲学科卒。
大阪芸術大学附属大阪美術専門学校映像学科卒。
映像作家。グラフィックデザイナー。
KIRIN ART AWARD 2000 奨励賞。

西川 文章(にしかわ ぶんしょう)
1975年生まれ。
ギター演奏家。音響エンジニア。
ヨーロッパ、アメリカツアーを行うなど、海外での評価も高い。
内橋和久らと共にNPOビヨンドイノセンスを立ち上げ、サウンドアートスペース「ブリッジ」を運営。
数多くのグループ、ユニットを手がけ国内外に数多くの共演者がいる。

palla / 河原 和彦(かわはら かずひこ)
1969年生まれ。
大阪市立大学建築学科卒。
10年間、建築設計に携わる。
2006 写真新世紀 優秀賞。
2007 岡本太郎現代芸術賞 入選。
WEBサイト: <http://www.pallalink.net/>

JRをご利用の場合
JR奈良駅バス停(10番のりば)から『22系統 県立図書館情報館行き』に乗車、終点。

近鉄をご利用の場合
新大宮(南口)バス停から『8系統 四条大路南町行き』に乗車、「県立図書館情報館西口」下車、徒歩5分。

近鉄奈良駅バス停(8番のりば)から『22系統 県立図書館情報館行き』に乗車、終点。

徒歩 JR奈良駅より約20分、近鉄新大宮駅から約15分

駐車場 料金:1時間まで無料、以後1時間ごとに100円

奈良県立図書館情報館
メインエントランスホール(2F)

開館時間 9:00~20:00

会期 2008年1月22日(火)~2月3日(日)

休館日 1月28日(月)、1月31日(木)

電話番号 0742-34-2111(代表)

協力・協賛

岡村印刷工業株式会社(大判インクジェット出力) 株式会社 タイムドメイン(音響機器) キヤノン株式会社(液晶プロジェクター)

